

法蔵館書店ニュース 8月

目次

話題の本	P1	特集1: 法蔵館書店 2024年・上半期売行ベスト20	P16
法蔵館新刊案内	P2~3	特集2: 来年は戦後80年を迎えます	P17
法蔵館重版案内	P4	特集3: 暑い夏はひんやり肝だめし! ようこそ地獄へ	P18
法蔵館刊行予定案内	P4~6	お知らせ	P19
法蔵館書店のおすすめ本	P6~15	法蔵館書店ベスト10・ メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★ 7、8月の書店休業日

8月のお休み: 4日・11日・12日・14日~17日(お盆休み)・18日・25日
9月のお休み: 1日・8日・15日・22日・29日

話題の本

●北國・富山新聞(2024/7/14)

『マンダラの新しい見方』

森 雅秀著・A5判・262頁・3,960円・ISBN:978-4-8318-6352-2



●産経新聞(2024/7/11)、●京都新聞[朝刊](2024/7/5)

『木賊』

望月文子:文、熊谷博人:絵・B5判・32頁・1,320円

ISBN:978-4-8318-5653-1



●中外日報(2024/7/5)

『新発見書簡で読み解く 軍医森鷗外』

—後輩軍医佐藤恒丸に問う海外情勢—

石川 肇・林 正子・松田利彦編・A5判・284頁・2,750円

ISBN:978-4-8318-6285-3



●週刊読書人(2024/6/28)

[立正大学大学院文学研究科研究叢書]

『近現代日本における日蓮信仰』

三輪是法著・A5判・548頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5583-1

●中外日報(2024/6/21)

『よもやま歴史風土記』

—琵琶湖水系三都と諸国の「問故知新」—

本郷真紹著・四六判・208頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-6282-2



法蔵館文庫

◆仏教者の戦争責任

【仏教／近代】

市川白弦著、石井公成解説・文庫判・320頁・1,430円
ISBN: 978-4-8318-2672-5

仏教者の戦争責任を生涯にわたり追及し続けた市川白弦の抵抗と挫折の記録。多くの刺激と示唆に満ちた現代の仏法と王法考察の名著。

■目次

はしがき

第Ⅰ部 仏教者の戦争責任／挫折と転向

第Ⅱ部 禅における自由／仏教における平和

現代仏教の自己回復／日本における

仏教社会主義の問題 ほか

ためし読み



◆中世寺院の風景——中世民衆の生活と心性

【日本史／仏教】

細川涼一著・文庫判・336頁・1,430円・ISBN: 978-4-8318-2673-2

小野小町伝説の寺、建礼門院の尼寺、法隆寺の裁判権、橋勧進など、多様な事例から中世寺院を舞台に生きた人々の生活・心情を明かす。

■目次

序

第一章 番場蓮華寺と一向俊聖

第二章 京都・小野小町伝説の道

第三章 中世の尼と尼寺

——建礼門院とその女房を中心に ほか

ためし読み



◆縁起の思想

【仏教】

三枝充憲著、一色大悟解説・文庫判・376頁・1,540円
ISBN: 978-4-8318-2674-9

「縁起」とは何か、「縁起」の思想はいかに生まれたのか。そして誰が説いたのか。仏教史を貫く根本思想の起源と展開を探究し、その本来の姿を明らかにした画期的論考。

■目次

まえがき

Ⅰ 「縁起」とは何か

Ⅱ 「縁起」と「関係性」

Ⅲ 初期仏教の縁起説 ほか

ためし読み



◆^{くす}ブッダの奇しき事跡 下

【仏教】

——梵文根本説一切有部律破僧事 全訳

平岡 聡著・A5判・474頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-2482-0

梵文「根本説一切有部律破僧事」世界初の全訳！ブッダの教化へのデーヴァダッタの敵愾心は昂じ、物語は破僧と和合の終結へと向かう。

■目次

凡例

略号表

第10章 五比丘の教化

第11章 シャーキャ族の因縁譚

第12章 ブッダに敵対するデーヴァダッタ

第13章 シュローナの教化 ほか

ためし読み



◆悩んだら『歎異抄』

【真宗／カウンセリング】

——親子・家族関係の相談からカウンセラーが見つけた光

富田富士也著・四六判・153頁・2,090円・ISBN:978-4-8318-5655-5

『歎異抄』の言葉には人とのつながりを見出し、気持ちを分かち合うための発想の転換があることを、長年の相談活動から明らかにする。

■目次

はじめに

1 「かあちゃんだよ」と迎えにきてほしかった気持ちわかりますか〈摂取不捨〉

2 こんな自分に生きる価値はありますか〈いはんや悪人をや〉

3 得るものは何もなかった〈弟子一人ももたず〉

4 働くことしか取り柄のない人間なんです〈信ずるほかに別の子細なきなり〉

5 あえて夫婦で争う必要はありませんでした〈無礙の一道〉 ほか

ためし読み



◆真実の道——歎異抄のことば

前田願海著・四六判・112頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8807-5

【仏教／真宗】

この出遇いが、私を生かしてくれた——人生の師を求め世界中を遍歴した末に、巡り合った恩師と『歎異抄』のことばに導かれた一生。

■目次

〈本書刊行にあたって〉

不思議な仏語

諸仏如来

国王

衆生の志願

自力無効の念仏

他力無効の念仏 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆マンダラの新しい見方

【美術史／仏教】 2刷

森 雅秀著・A5判・262頁・3,960円・ISBN:978-4-8318-6352-2

「何がマンダラか」という視点に立ち、日本で展開した浄土教曼荼羅や参詣曼荼羅等のあり方、思想を探求しマンダラの意義を再考する。

■目次

はじめに

第一章 マンダラと灌頂儀礼

第二章 日本人はマンダラをどのように見てきたか

第三章 マンダラが媒介するもの

第四章 文字のマンダラ 種子曼荼羅 ほか



◆真言密教事相概論

【真言宗】 2刷

潮 弘憲著・A5判・512頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6397-3

初学の真言僧向けに、『即身成仏義』の二経一論・二頌八句の解説、本尊、法流、修行、修法、主な法会等を概観する初の書。

■目次

第一章 真言密教について

第二章 真言密教の目標

第三章 真言密教の本尊

第四章 真言密教の事相と法流

第五章 真言密教の修行 ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2024年9月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・——報恩講を迎える

四衢 亮編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1172-1

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆死者の結婚——慰霊のフォークロア

法蔵館文庫

櫻井義秀著・文庫判・384頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2675-6

【宗教／社会】

「結婚」とは何か。東アジアで行われる死者に対する結婚儀礼の種々の類型を事例に、その社会構造や文化動態の観点から考察する。

◆ラクダの文化誌——アラブ家畜文化考

法蔵館文庫

堀内 勝著・文庫判・552頁・2,035円・ISBN:978-4-8318-2676-3

【文化史／民族誌】

アラブ遊牧民はラクダをどう扱い、共に生きてきたのか。砂漠の民が使うラクダに関する様々な言葉、伝説や文献、現地調査から、ラクダとアラブ文化の実態を描き出す。

◆中世文芸の地方史

法蔵館文庫

川添昭二著、佐伯弘次解説・文庫判・472頁・1,870円・ISBN:978-4-8318-2677-0

【日本史／中世】

中世九州を素材に、地方文芸の展開を政治動向に即して解説。政治史と文化史双方に通じた著者が、政治・宗教・文芸が一体をなした中世社会の様相を追究した圧巻の書。

◆魚山余響略註

——江戸時代後期、西本願寺の声明事情を読む

藤波蓮鳳著・A5判・456頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-6288-4

【仏教】

西本願寺で御堂衆を務めた光隆寺知影(1763～1825)が著した、魚山での見聞録。天台宗声明の聖地・魚山、宮中の御懺法講、当時の西本願寺の声明事情が浮き彫りに。

◆新装版 和讃 仏教のポエジー

武石彰夫著・四六判・232頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6702-5

【仏教／真宗】

仏教歌謡・和讃の出現で仏教は、初めて平等無差別のものとなった。その概要、歴史を詳述。

◆解脱房貞慶の世界——『観世音菩薩感応抄』を読み解く

阿部泰郎・楠 淳證編・四六判・予400頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6289-1

【仏教／中世】

解脱房貞慶の生涯と思想、後代への影響などを遺された宗教テキストや美術作品から解説。貞慶に関心を寄せてきた研究者が集結し、「解脱房貞慶の世界」へと読者を誘う。

◆歎異抄を読む——今、念仏に生きる意味を問う

田中好三著・四六判・168頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8806-8

【仏教／真宗】

高校で国語の教員として長年勤めてきた著者が、人間の本質を鋭く見抜いた親鸞聖人の「人間観察」に強く惹かれ、古典文学の枠を超えた『歎異抄』の魅力を伝える。

荻谷定彦 小西日遼 大平宏龍 三先生頌寿記念論文集

◆法華仏教の潮流——教えと学びの道しるべ

荻谷定彦 小西日遼 大平宏龍 三先生頌寿記念論文集刊行会編・A5判・1,026頁・22,000円
ISBN:978-4-8318-7782-6

【仏教】

法華宗の教学研究および後学指導に尽力されてきた荻谷定彦・小西日遼・大平宏龍三先生の頌寿を祝し、宗門内外の研究者総勢45名による論考を集めた珠玉の論文集。

◆評伝・小林正盛

星野英紀著・四六判・174頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-5574-9

【近代／仏教】

真言宗豊山派総本山長谷寺第66代化主・小林正盛^{しょうせい}(1876～1937)。夢を追い、情熱を持って様々な活動に奔走したその生涯を、宗教社会学の視座から描く。

法蔵館書店のおすすめ本

◆近代仏教とは何か——その思想と実践

碧海寿広著・A5判・417頁・3,520円〈青土社〉

仏教はどこから来て、何であり、どこへ行くのか。

近代において仏教には静かな革命が起こっていた。僧侶に限らず、個人や俗人が、さまざまな垣根を超えて活躍し、社会や時代のなかで仏教はその内実を再編成していった。「近代仏教」を透徹したまなざしで見つめる。決定版。

■目次

近代仏教とは何か

- A 学知・精神・国家(吉田久一と清沢満之;清沢満之と近角常観;青年文化としての仏教日曜学校—大正期における「子ども」の仏教;近代仏教と神道 ほか)
- B 実践・生命・民俗(儀礼と近代仏教—『新仏教』の論説から;破戒の国の戒律論—「半透明の規範」の歴史;教養主義、生命主義、日本宗教 ほか)



講談社学術文庫 2815

◆日本仏教再入門

末木文美士編著、大谷栄一・頼住光子著・文庫判・358頁・1,496円〈講談社〉

昨今、仏教研究は進展を見せ、従来の常識は大きく書き換えられつつある。本書を読めば、日本仏教の思想と歴史の概観と肝要なポイントがすべてわかる、格好の入門書です。

■目次

- 第一章 仏教の展開と日本 序説(末木文美士)
- 第二章 仏教伝来と聖徳太子 日本仏教の思想1(頼住光子)
- 第三章 最澄と空海 日本仏教の思想2(頼住光子)
- 第四章 法然・親鸞と浄土信仰 日本仏教の思想3(頼住光子)
- 第五章 道元と禅思想 日本仏教の思想4(頼住光子)
- 第六章 日蓮と法華信仰 日本仏教の思想5(頼住光子)
- 第七章 廃仏毀釈からの出発 近代の仏教1(大谷栄一)
- 第八章 近代仏教の形成 近代の仏教2(大谷栄一)
- 第九章 グローバル化する仏教 近代の仏教3(大谷栄一) ほか



仏教学入門 多摩親鸞講座

◆いま、仏教が教えてくれること

——生きづらい世に送る仏教学入門

三明智彰講述・A5判・137頁・1,200円〈多摩親鸞講座事務局〉

2023年4月から7月にかけて開催された「多摩親鸞講座」において、「いま、仏教が教えてくれること」をテーマに、九州大谷短期大学学長(当時)の三明智彰先生にお話をいただいた講義録です。

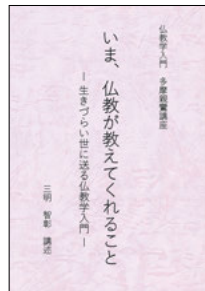
■目次

第一講 科学と宗教

①自己紹介 ②呼びかけ文より ③カルト問題 ④科学とは ⑤宗教とは ⑥仏教とは

第二講 カルトと仏教

①カルトの問題 ②カルトとは ③オウム集団の現況 ④仏教とは ほか



◆親鸞思想と解放運動

廣瀬 泉著・A5判・159頁・550円〈真宗大谷派難波別院〉

1987年に刊行後絶版となっていたものを、藤井慈等氏(三重教区慶法寺前住職)監修のもと、できるだけ当時の問題意識を反映しつつ、語句の現代の表現に即した修正・補注などを加えた1冊。

■目次

『親鸞思想と解放運動』の再版にあたって——禿信敬

発刊のことば——広島昭昭

廣瀬先生の御出講を頂いて——織田昭爾

講義 一、真宗学徒の課題 二、慙愧の精神 三、門徒の原形 ほか



◆読んで書く 歎異抄 一日一文練習帖【前編】【後編】

齋藤 孝著・B5変判・157頁・【前編】【後編】各1,540円〈自由国民社〉

実際に自分で、声に出して読むこと、書き写すことなどで、言葉が身と心に沁み込んでいきます。ぜひ『歎異抄』の教えが、みなさんの生活に役立つことを願っています。

■目次【前編】

序 異なることを嘆く

第一条 信じて念仏すれば、必ず救われる

第二条 念仏以外に往生の道を知らず

第三条 悪人ほど往生するのにふさわしい ほか

■目次【後編】

第十三条 善惡にとらわれず、本願にすべてを任す

第十四条 念仏は罪を減らすために唱えるものではない

第十五条 今生に本願を信じて来世にさとりを開く

第十六条 悔い改めの回心は、一度かぎり ほか

【前編】【後編】
同時発売



◆図説 ここが知りたかった! 日本の仏教とお経

廣澤隆之監修・四六判・235頁・2,189円〈青春出版社〉

あなたの家(うち)は何宗ですか? 日本の仏教13宗派は、どうやって生まれたのか、「般若心経」「法華経」「観音経」などのお経には一体どんな教えが記されているのか……

ふんだん写真と図版で、宗派の成り立ちとお経の味がスッキリわかる一冊です。

■目次

序章 釈迦の誕生と教えの伝播

第一部 日本の宗派

一章 飛鳥・奈良仏教

二章 平安仏教

三章 鎌倉仏教

四章 江戸仏教

第二部 仏教の經典

五章 大乘經典

六章 密教經典

七章 原始經典



◆人生が一変する「遊ぶつきょう」の教え

町田宗鳳著・四六判・165頁・1,760円〈サンマーク出版〉

「遊び力」を身につけると

人生は一気に輝きはじめる!

日本の歴史上で遊びが果たした役割、文化・芸術方面で花開いた創造性などを検証しながら、あなたの「遊び力」を鍛え、人生に活かす方法を説きます。禅と密教を修めた唯一無二の僧侶がたどりついた究極の境地は、毎日の生活や仕事における迷いや悩みからあなたを解放してくれるでしょう。

■目次

◎人間性の根幹にかかわる「遊び力」

◎童心に帰ることがなぜ重要なのか

◎遊びには「面倒くさい」がない

◎縄文人は遊びの天才だった!

◎遊びはトラウマを消す最高の方法 ほか



◆漫画で読む 般若心経

——現代を逞しく生きるための正しい人生観

高瀬武三著・四六判・117頁・1,430円〈風詠社〉

人生いかにいかに生きるべきか。ダライラマ14世と親交があり、住職歴60年の宗教学者が説く、般若心経による乱世を生きる知恵。



SB新書

◆京都なぞとき散歩

柏井 壽著・新書判・232頁・990円〈SBクリエイティブ〉

知られざる京都の謎・不思議を、京都のカリスマ案内人の柏井壽が紹介！本書の意図は、なぞときと言っても完全に謎を解明しようというものではなく、謎に気づいてもらうこと言い換えれば「なぜ？」と疑問をもってもらうことにあるのです。

■目次

- 第一章 社寺の謎を歩く
- 第二章 土地の謎を歩く
- 第三章 食文化の謎を歩く
- 第四章 祭事の謎を歩く
- 第五章 京都人の謎を歩く



古社寺の謎シリーズ

◆京都古社に隠された歴史の謎

——知られざる古都の原像と信仰

古川順弘著・B6判・238頁・1,430円〈ウェッジ〉

京都は秦氏をはじめ渡来人が早くから進出していた地でもあり、それに関係した神社が多い。

本書では、京都の古社に焦点をあて、その隠された魅力とともに、知られざる平安京以前の歴史的経緯を掘り下げ、豊富な写真とともに京都の深層に迫っていくもの。

■目次

- 第1章 京都の地主神をめぐる
- 第2章 賀茂神の軌跡をたどる
- 第3章 古都を育んだ渡来人の信仰
- 第4章 神話・伝説の舞台を訪ねる



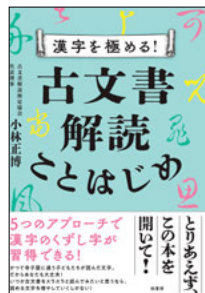
◆漢字を極める！古文書解読ことはじめ

小林正博著・A5判・198頁・1,870円〈柏書房〉

くずし字を学ぶことは古文書を読むためには必要不可欠。古文書が導いてくれるのは知られざる過去のいきいきとした姿だ。くずし字を学ぶことは楽しさに浸らせてくれる。それが「くずし字を覚える」⇒「文字を発見する」⇒「読める文字が増えていく」⇒「文章の意味が見えてくる」この過程なのだ。

■目次

- 第1章 漢字を分類して覚える(単漢字;特殊文字;頻出漢字;異体字・旧字;“補編”変体仮名とその字母の漢字)
- 第2章 部首による漢字解読攻略法
- 第3章 演習問題



◆ヴィクトール・フランクル——それでも人生には意味がある

勝田茅生著・A5判・174頁・1,080円(NHK出版)

アウシュビッツから生還したユダヤ人精神科医フランクル。フランクルの孫弟子が、フランクルの激動の人生と、その生涯を賭けて世に伝えたかった思想を紹介しながら、苦難の中にあっても生き抜いた道程を探る、かつこうの「フランクル入門書」。巻末には作家・小野正嗣氏の特別寄稿を収載。

■目次

- | | |
|--------------------|----------------|
| 第1回 「日曜生まれの子」その光と影 | 第4回 人生という「砂時計」 |
| 第2回 苦悩を生き抜く | 第5回 「何か」に支えられて |
| 第3回 豊かさの中の「空虚」 | 第6回 人生の中の出逢い |



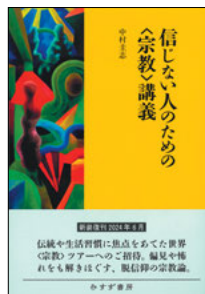
◆信じない人のための〈宗教〉講義

中村圭志著・四六判・244頁・3,520円(みすず書房)

宗教家や宗教学者にはちょっと書けない、この脱〈信仰〉型の宗教案内で、私たち自身の偏見や怖れをも、このさい解きほぐしてみましょう。

■目次

- 1 はじめに
- 2 宗教のネットワーク、無限の多様性
- 3 高校の地図帳に載っている「宗教」
- 4 ひとつの物語——ユダヤ教の伝承から
- 5 もう一回考える——共同体・戒律・神・神話・儀礼 ほか



◆神と共に歩んだ日本の歴史

——神道なくして日本は語れるか

吉田成隆著・四六判・196頁・1,650円(あさ出版)

開祖も宗祖もおらず、教義も救済もない神道だが、その信仰は日本人の生活に深く浸透している。宗教の枠におさまりきれない神道について、「古代の日本の神々の祭祀はどのように現代まで生きのびてきたのか」という問いに導かれながら、神道とは何かを考える。

■目次

- 第一章 神が畏怖、畏敬された時代
- 第二章 神が人格を得た時代
- 第三章 神が国家と国民精神の中心とされた時代
- 第四章 神が崇った時代
- 第五章 神が武家の守護神だった時代 ほか



◆陰陽師の平安時代——貴族たちの不安解消と招福

中島和歌子著・四六判・283頁・2,090円〈吉川弘文館〉

日時や方角の吉凶を熟知し、占いやまじないで人々の不安を解消した陰陽師。暦の計算や天体観測にもとづき凶事の予見もできる、平安貴族にとって頼もしい存在だった。彼らが貴族に教えた方違や物忌、八卦忌などの陰陽道の基礎知識をわかりやすく解説。文学作品にも注目し、国風文化が華ひらいた平安時代に陰陽道が成立・発展した事情にせまる。

■目次

占い—未知・未来を知らせることによる不安の解消
陰陽五行説、干支の基礎知識
占いの種類
災害・怪異の占い ほか



◆反密教学

津田真一著・A5判・385頁・4,400円〈春秋社〉

〈利他行の宗教〉と〈瑜伽の宗教〉という二分法を用いて、〈華嚴〉と〈釈尊の宗教〉、〈大乘〉と〈密教〉、を両立不可能なものとして分ける特異な見方や、反密教として密教は完結したと結論する密教思想史などを含む斬新で独創的な対談と論考八篇。

■目次

I 密教理解の現位置
II 釈尊の宗教と華嚴
III 大日経世界と空海
IV タントリズム瞥見——サンヴァラの儀礼と教義 ほか



◆祖父江善光寺蔵「善光寺如来御絵伝」ご絵解き

林 雅彦監修、林 麻子著・B5判・102頁・3,300円〈方丈堂出版〉

近代に至ってから開創された祖父江善光寺（愛知県稲沢市）では、東海地方で出開帳時に「善光寺如来絵伝」の絵解きを行っていた。その台本や絵解きを一部録音した貴重なテープが現存しており、さらに近年は新たに作成した絵伝を用いて、寺の内外で著者・林麻子が絵解きを復活、口演して注目されている。

■目次

1 祖父江善光寺「ご絵解き」
2 日鑑（記録日誌）に見る祖父江善光寺の「ご絵解きの歴史」
3 「善光寺如来御絵伝」絵解き台本
4 旧掛幅絵（二幅）及び台本 ほか



◆葬式仏教——死者と対話する日本人

薄井秀夫著・新書判・253頁・1,320円〈産経新聞出版〉

お布施や戒名への違和感の正体。「教え」に興味がない日本人が仏教で葬儀をするのはなぜか？ 死者を想う気持ちとすれ違うお寺との関係をひも解く。

■目次

- 第1章 人は死んだらどこへ行くのか？
 - 第2章 葬式仏教という宗教
 - 第3章 死者と対話する装置——仏壇とお墓
 - 第4章 社会問題化するお布施
 - 第5章 なぜお布施への違和感がなくならないのか
 - 第6章 戒名と檀家
- 葬式仏教の未来—むすびにかえて
日本仏教の主要宗派



◆「遺骨を拾わない・お墓をつくらない」葬送を考える

源 淳子著・四六判・166頁・1,540円〈同時代社〉

戒名は必要ですか？ 収骨は何のために？ 墓じまいとは？ 大切な人を悼むこと、そして、自分らしい終末を迎えるために考えておきたいことは？ 現代のお墓と遺骨の尽きない悩みに応える必読書。〈あらかじめ準備しておくチェックポイント〉付

■目次

- 1章 つれあいの遺骨を拾わなかったわたし
- 2章 葬儀について考える
- 3章 戒名とお墓の問題
- 4章 収骨しない・してもらわないということ
- 5章 老後や死をどう迎えたいのか
- 6章 宗教的自立について考える



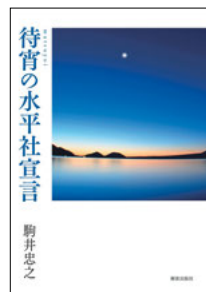
◆待宵の水平社宣言

駒井忠之著・A5判・220頁・2,750円〈解放出版社〉

水平社宣言に込められた理念や思想、その世界観を、西光万吉や平野小剣をはじめとする創立者たちの文章を手がかりに読み解く。

■目次

- I 水平社宣言への道
- II 水平社宣言の真髓
- III 水平社宣言の熱と光



◆国宝クラス仏をさがせ！

瀬谷貴之著・A5変判・143頁・2,475円〈新潮社〉

つぎの国宝仏はこれの中に!? 仏像ファン必携の画期的ガイドがついに誕生。「国宝クラス仏」とは、まだ国宝にはなっていないけれどもいずれにしても不思議ではない、優れた仏像のこと——。飛鳥から桃山まで、東北から沖縄まで。歴史的に興味深く、造形的に魅力溢れる33件を、美しい写真と最新の学説を踏まえた解説でご案内。本書片手に、思わぬところにおわします仏さまたちに会いに出かけよう。

■目次

鎌倉地方に吹いた宋からの風——称名寺 弥勒菩薩立像
田沼意次菩提寺に関東最古の木彫仏——勝林寺 釈迦如来坐像
南北朝時代のエース仏師 院吉の華麗なる三尊像——一方広寺 釈迦三尊像
雷のような沈黙、維摩居士とは何者——石山寺 維摩居士坐像 ほか



◆「戦争ごっこ」の近現代史——児童文化と軍事思想

サビーネ・フリューシュ・トゥック著、中村江里・箕輪理美・嶽本新奈訳
四六判・340頁・5,280円〈人文書院〉

著者が提唱する「感情資本」とは、大人が子どもに対して持つべき感情とともに、子どもに帰属する感情のことであるが、このような「感情資本」は、日本の日清・日露の戦争勝利、太平洋戦争、連合国による日本占領、そして現代の世界的な平和創造へ決定的な役割を果たしてきた。絵本や地図、広告ポスターなどさまざまな図像を示しながら鋭く迫る。

■目次

序章 傷つきやすさの仮説
Ⅰ部 戦争ごっこ
Ⅱ部 戦争のイメージ
終章 ピンク色の赤ちゃんのルール



◆大いなる道——物語でたどる仏教の世界 1

山口辨清著・四六判・302頁・2,640円〈大法輪閣〉

「油断」という言葉の語源となった若者の話、食べ物「茗荷」の名前の由来ともなったお釈迦様の弟子の話など、インド・中国・日本の説話や、お経の中から仏教の教えをやさしく伝える物語を収録。

■目次

・鉢の油	・三日月の彼方へ	・夢見のうしゅの坊
・王の馬は馬の王	・福の神はどちら	・子さがし巡礼
・水は濁さず蓮を傷めず	・一晚堪忍すべし	・夫婦は二世のり
・柘榴の木の下で	・しょうやく、ひしゃく	・夢地蔵 ほか



◆初期仏典の解釈学

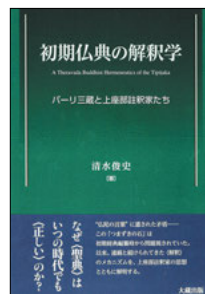
——パーリ三蔵と上座部註釈家たち

清水俊史著・A5判・466頁・13,200円〈大蔵出版〉

なぜ〈聖典〉はいつの時代でも〈正しい〉のか? “仏陀の言葉”に遺された矛盾? この「つまずきの石」は初期經典編纂時から問題視されていた。以来、連綿と続けられてきた〈解釈〉のメカニズムを、上座部註釈家の思想とともに解明する。

■目次

- 第一部 聖典解釈の法理
- 第二部 上座部註釈家の思想
- 第三部 上座部註釈家の系譜



◆2024年安居本講 『口伝鈔』史考

草野顯之著・A5判・187頁・4,400円〈東本願寺出版〉

■目次

- 第一章 覚如上人と『口伝鈔』
 - 第一節 覚如上人の誕生と大谷廟堂……………
 - 第二節 覚如上人の生涯と『口伝鈔』
 - 第三節『口伝鈔』について
- 第二章『口伝鈔』の読解
 - 第一節 第一・安居院参向章について
 - 第二節 第九・聖光引導章について
 - 第三節 第一四・体失不体失章について
 - 第四節 第六・弟子誠諍章について……
 - 第五節 第八・一切経校合章について
 - 第六節 第二・光号因縁章と第三・無碍光曜章について

ほか



◆2024年安居次講 『西方指南抄』序説

山田恵文著・A5判・213頁・4,400円〈東本願寺出版〉

■目次

- 開講の辞
- 第一章『西方指南抄』概説……
 - 第一節 書誌情報
 - 第二節 奥書の問題
 - 第三節 収録資料と構成……
 - 第四節 編集の形跡
 - 第五節 題号について
- 第二章 親鸞と『西方指南抄』
 - 第一節 執筆前後の行実……………
 - 第二節 善鸞事件との関わり
 - 第三節 夢告和讃の表出……
- 第三章「法然聖人御説法事」の検討

ほか



◆節談説教 第29号

節談説教研究会編・A5判・108頁・880円〈節談説教研究会〉

《内容》

追悼 藤野宗城先生

若き説教者への口伝

藤野宗城先生の歩み

藤野宗城先生をお偲びして

藤野宗城師追悼号に寄せて

評伝・田淵静縁 一節談説教と文書伝道

令和5年度冬期中央錬成会提出台本

第1回節談説教布教大会IN四国 開催のご案内 ほか



◆高田学報 第112輯

高田学会編・A5判・169頁・2,200円〈高田学会〉

《内容》

論文

太子信仰と太子……常磐井滋裕

親鸞聖人における聖徳太子像と現生正定聚論……北島義信

真慧上人から江戸時代へ……栗原直子

圓道上人の茶の湯……宮武慶之

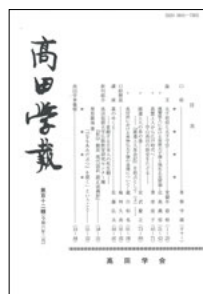
高田派における南無仏太子像の造像について……瀧川和也

口絵解説……梅林久高

講演

墓のゆくえ……佐藤弘夫

新刊紹介 ほか



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 8月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 穂村 弘(歌人)

生きていることの醍醐味は、偶然性の中に潜んでいる。

◎特集 平等をあきらめない——差別や戦争のなかでも

新連載——

真宗と大拙と私／池田向一

◎新連載に向けて

録音から立ち現れる「音景」／柳沢英輔さんに聞く ほか

◆大乘 8月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・ご機言！お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました

「ハンドサイン」……前田純代

・なるほど仏教ライフ「身分け 言分け」……西原祐治

・お坊さん み跡をめぐる Part2 「黄楊のご旧跡」

・みのりのエッセー「敵が見方か」……緒方義英 ほか

特集1

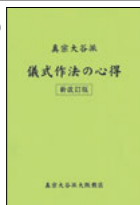
法藏館書店 2024年・上半期売行ベスト20



人間はなぜ争うことをやめられないのか

一楽 真講述・A5判・89頁・250円(真宗佛光寺派)

昨年のランクインに引き続き、今回は堂々の第1位! 不安な今世界の情勢にあって、いかなるふるまいもする私たちにかげられた阿弥陀の願いが語られ、わかりやすい内容で施本として人気。



儀式作法の心得 新改訂版

真宗大谷派大阪教区出版会議編・A4判・36頁・440円(真宗大谷派大阪教区)

2019年に新改訂版として発行され、実際の儀式作法に必要なものに重点をおいて解説されており、『住職必携』(法藏館)とともにお求めいただく方が多くありました。



【朝日新書935】

一億三千万人のための『歎異抄』

高橋源一郎著・新書判・216頁・891円(朝日新聞出版)

語り口が現代語のわかりやすい、注意を使わない著者私訳の歎異抄。私に向けた言葉として、これまで何度も読まれた方も手に取っていただくことができました。

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	真宗学講義ノート	田代俊孝講述 児玉法彰筆録 池井勝彦加筆	同朋大学田代客員 教授研究室	1,300円
5	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館 8783	2,860円
6	唯信鈔文意【ちくま学芸文庫 シ-45-1】	親鸞著 阿満利磨解説	筑摩書房	1,100円
7	【教行信証化身巻講義】親鸞の遇った世界 浄土真宗IV	平野修述「平野修師講義集」 編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
8	真宗聖典(第二版)〈小判〉	聖教編纂室編	東本願寺出版	4,400円
9	真宗聖典(第二版)〈大判〉	聖教編纂室編	東本願寺出版	4,950円
10	親鸞入門【真宗新書】	一楽 真	東本願寺出版	968円
11	舍利弗の物語—阿弥陀経の黙った主役	大窪康充	京都月出版	1,100円
12	曇鸞『浄土論註』の新研究—真宗理解の再構築のために	市野智行編	法藏館 7781	3,300円
13	【帰京後の親鸞—明日にともしびを9】八十二歳の親鸞—善鸞異義事件	今井雅晴	自照社	1,100円
14	浄土の歩き方—行きたいと思ったときに来てくれるのが阿弥陀の国!	英月	春秋社	2,420円
15	溶け合う世界へ—南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇 講述	響流書房	110円
16	生誕160年新装版 清沢満之先生のことば—生誕100年記念出版	大河内了義・ 佐々木蓮磨編	永田文昌堂	1,100円
17	龍谷大学真宗学—〇〇年史	龍谷大学真宗学会編	永田文昌堂	3,080円
18	はじめてふれる坂東本・教行信証	三木彰円	東本願寺出版	1,650円
19	岩波 仏教辞典 第三版	中村 元・福永光司・田村芳朗 今野 達・末本文美子編	岩波書店	9,900円
20	【ちくま新書 1794】隠された聖徳太子—近現代日本の偽史とオカルト文化	オリオン・クラウタウ	筑摩書房	1,012円

特集2

来年は 戦後80年を迎えます

戦後生まれの割合は全人口の9割に達しています。戦争の記憶が薄れゆく中、戦争の悲惨さを今後どのように継承していくかが、課題になっています。戦争責任、反核、世界平和について今、考えてみます。



新刊

◆仏教者の戦争責任

法蔵館文庫

市川白弦著、石井公成解説・文庫判・320頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2672-5

仏教者の戦争責任を生涯にわたり追及し続けた市川白弦の抵抗と挫折の記録。多くの刺激と示唆に満ちた現代の仏法と王法考察の名著。(法蔵館)

◆ラジオの戦争責任

法蔵館文庫

坂本慎一 著・文庫判・272頁・990円・ISBN:978-4-8318-2636-7

戦前最強の「扇動者」、ラジオ。その歴史を五人の人物伝によってひもとき、国民が戦争を熱狂的に支持し、また玉音放送によって瞬く間に終戦を受け入れるに至った「日本特有の事情」を炙り出す。(法蔵館)



◆戦後日本の宗教者平和運動

大谷栄一編・四六判・358頁・3,960円

戦争責任、靖国、反核、世界平和——。

戦後日本の宗教界は、戦争協力への反省から、平和運動に活発に取り組んできた。その軌跡を辿り直し、戦後社会におけるその意義を問う。(ナカニシヤ出版)

◆お寺の鐘は鳴らなかった

——仏教の戦争責任を問う

大東 仁著・B6判・205頁・1,870円

20歳の学生として中国の万人坑を見学して以来、戦争責任を見つめつつ平和を求める歩みを始めた一青年。現在は真宗大谷派の一僧侶となった青年が、仏教(主に真宗)の戦争責任を見つめた本。(教育史料出版会)



特集3

暑い夏は ひんやり肝だめし!

ようこそ地獄へ

私たちの祖先は、仏教とともに「地獄」の存在を知って以降、常に地獄を身近に感じながら生きてきました。あの世はいかに生まれたのか? 「三途の川」までの道のりを同行し、「閻魔王」を紹介する地獄巡りにご案内いたします。



◆地獄 法蔵館文庫

石田瑞磨著、末木文美士解説・文庫判・318頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2606-0

古代インドで発祥し、中国を経て、日本へとやってきた「地獄」の歴史と、地獄と共に展開した浄土信仰、「極楽」の歴史を、詳細に論じた恰好の地獄概説書。
〈法蔵館〉



◆ようこそ地獄、奇妙な地獄

星 瑞穂著・四六判・311頁・1,870円

DSな鬼、滑稽な閻魔王、図々しい亡者。
平安から明治まで、「地獄」を辿ると見えてくる、切なくも面白い日本人の性(さが)。そこには日本人が辿ってきた時代の空気、世相、死生観がありありと映し出されている。
〈朝日新聞出版〉

◆キャラ絵で学ぶ! 地獄図鑑

山折哲雄監修、いとうみつる:絵、千羽ひとみ:文・A5変判・143頁・1,760円

怖くておもしろい地獄について、怖カワいいイラストをふんだんに使いながら徹底解説します。地獄がどんなところか丸ワカリになります。イラストがカワイイので、恐ろしい設定もそんなに怖がらずに読み進められます。楽しく学んで、楽しく怖がりましょう! 〈すばる舎〉



◆地獄と極楽

野沢ともかつ:画、勝崎裕彦監修・B5判・72頁・600円

地獄に迷い込んだ主人公が、八大地獄(等活地獄から阿鼻地獄まで)と極楽を旅をする漫画。地獄の獄卒たちによる責苦は迫力満点。小学生低学年の方にもお読みいただけます。〈大道社〉



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店
協賛・出店

テーマ:「未来へ伝え得るもの——先人たちの智慧に学ぶ」

第3回 9月6日(金)「一隅を照らす—落語家・まるこの仏道修行」

(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分))

落語家・天台宗道心寺住職 露の団姫氏

第4回 10月4日(金)「仏教の声楽曲「天台声明」の調べ」

(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分))

天台宗三千院門跡門主 小堀光實氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業局出版事業部

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

夏の風習「お盆」

ご先祖様をご自宅にお迎えしてご供養する夏の風習「お盆」。

私が子供のころ「お盆に泳ぎに行ったら足を引っ張られぞ!」と父に
言われ怖がってた思い出があります。

「お盆に結婚式を挙げてはいけない」「お祝い事」は避けるべきと
いう風習もあるようです。地域行事も「盆踊り」「精霊流し」「打ち
上げ花火」など様々です。京都はやはり「大文字送り火」です。

いづれにしても故人やご先祖様の霊を家に迎えて、供養することが
大切ですね。



◆お盆のはなし 2刷

蒲池勢至著・四六判・116頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-6419-2

日本人の夏の行事として欠くことができない「お盆」。そもそ
も「お盆」とは何なのか。お盆の発生と歴史、祖先をどう迎え
送るのかなどお盆について簡潔にまとめる。 〈法藏館〉



◆盆行事と葬送墓制

関沢まゆみ・国立歴史民俗博物館編・四六判・257頁・2,750円

墓地で飲食する、庭先に盆棚をつくる、墓参りをしない、土葬
がなくなる……。先祖の霊を祀る「お盆」と「葬送」の地域差
と現在に迫る! 〈吉川弘文館〉



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(7月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
2	『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え 2刷	藤澤信照	法藏館	1,980円
3	【朝日新書935】一億三千万人のための『歎異抄』	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
4	親鸞思想と解放運動	廣瀬 晃	真宗大谷派 難波別院	550円
5	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
6	正信偈にきく 南無阿弥陀仏のころ(上)	廣瀬 惺	難波別院	550円
7	儀式作法の心得 新改訂版	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
8	親鸞と救済	本多弘之	春秋社	3,300円
9	親鸞聖人の「御消息」を味わう—現代語訳・解説・原文	瓜生津隆文	自照社	2,310円
10	はじめてふれる坂東本・教行信証	三木彰円	東本願寺出版	1,650円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会

検索

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!